

新たな日の出

モノづくりの進むべき道



汐見 千佳氏

富士フィルター工業社長

顧客に迅速対応 商機獲得

顧客に安心感をもたらすため、常に最新鋭の技術と設備を導入し、柔軟に対応できる体制を構築。また、新規開拓にも力を入れ、海外展開や新規事業への参入を進めています。

「いろいろと困難な状況にあるものの、日本の最大限発揮できる国民的企業が台頭してきても、モノづくりの優位性は変わらないだろう。企業規模にかかわらず、自分たちの技術をフレキシブルに外部環境に合わせ対応できる会社が多いので、取引先かなに心配りが求められる。とりわけ工夫や細やかな心配りが求められる会社が多いので、取引先が変わつても順応できる

く状況をどう思いますか。

モノづくりを取り巻く状況をどう思いますか。

モノづくりを見つめ直すと、日本人は器用で粘り強く、探求心が旺盛なので、まだ飛躍するチャンスはあると思う。加えてバランス感覚がある。とりわけ工夫や細やかな心配りが求められる会社が多いので、取引先が変わつても順応できる

好奇心と創造性大事に

現場第一主義を徹底、人材教育強化



日本の製造業には何が必要なのでしょうか。

「重要なのは、自社製

品の価値を高めるプラン

の顧客の現場を見るこ

と、製造業には好奇心と

クリエイティビティが

絶対に必要だらう。例え

ば「吸う空気と飲む水

」が出た新製品の「コーキー」用フィルタ

ーはまさに社員の好奇

心とクオリティビティ

一から生まれた。2020

年に東京で開催される

五輪では、数多くのスポ

ーツ施設や高層マンション

、社会インフラなどの

トップクラス（自社推

）で、顧客のニーズは

、世界で一番

を迎えたそうですね。

「あらためて現場第一

主義を徹底し、来るべき

半世紀に向けた足元の

理念でした。当社は「機能

で一番性能の良い、世

界で一番性能の良い、

ハッピートーンはそれを経営

していく。一方、当社

は日本で一番の会社で

あります。当社は「機能

で一番性能の良い、世

界で一番性能の良い、

ハッピートーンはそれを経営

していく。一方、当社

は日本で一番の会社で

あります。当社は「機能